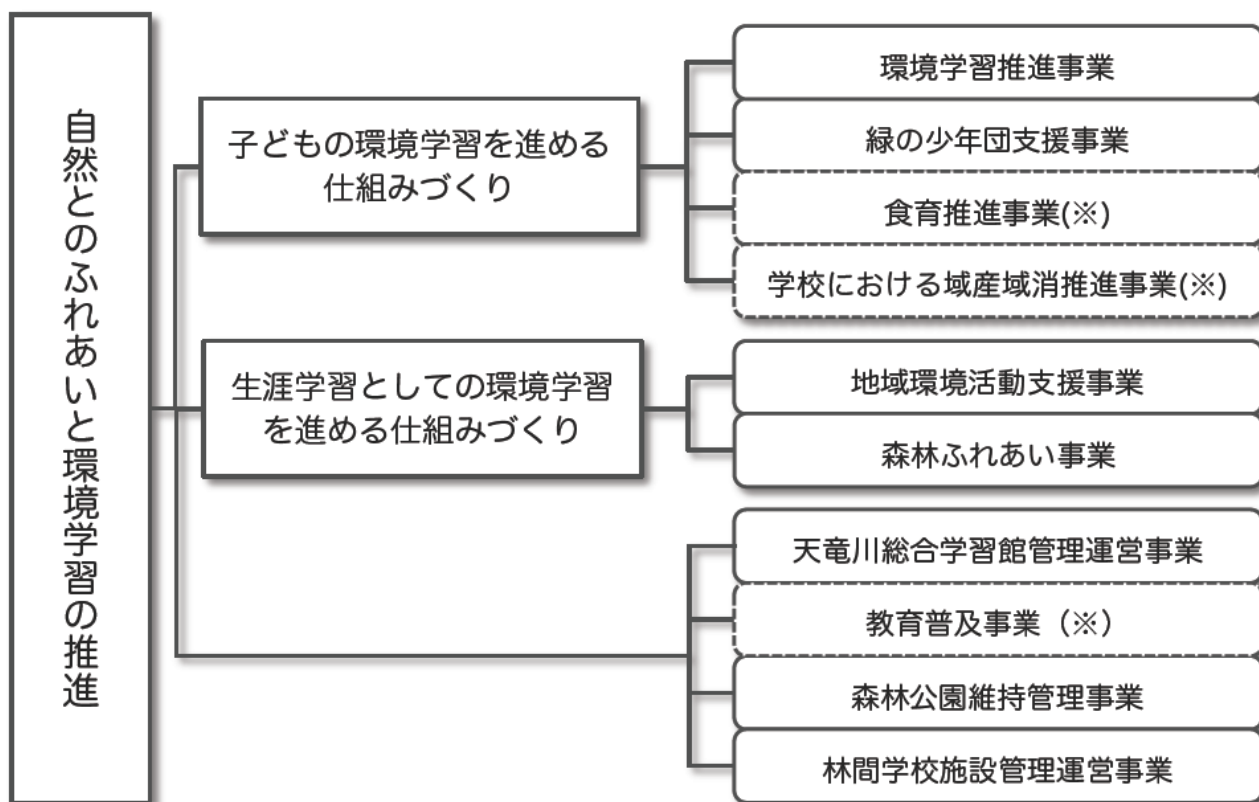


基本施策5 環境学習の推進

1 施策の柱と事業の構成

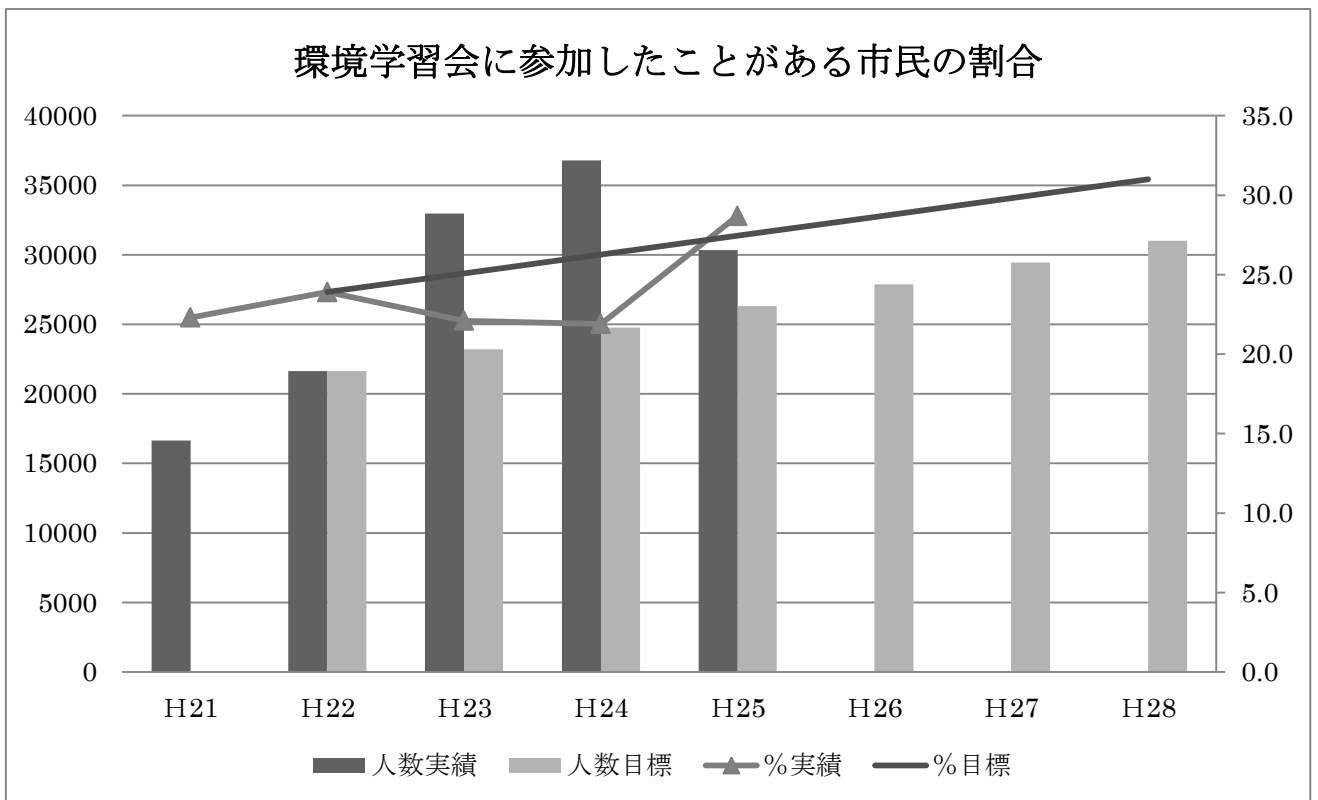
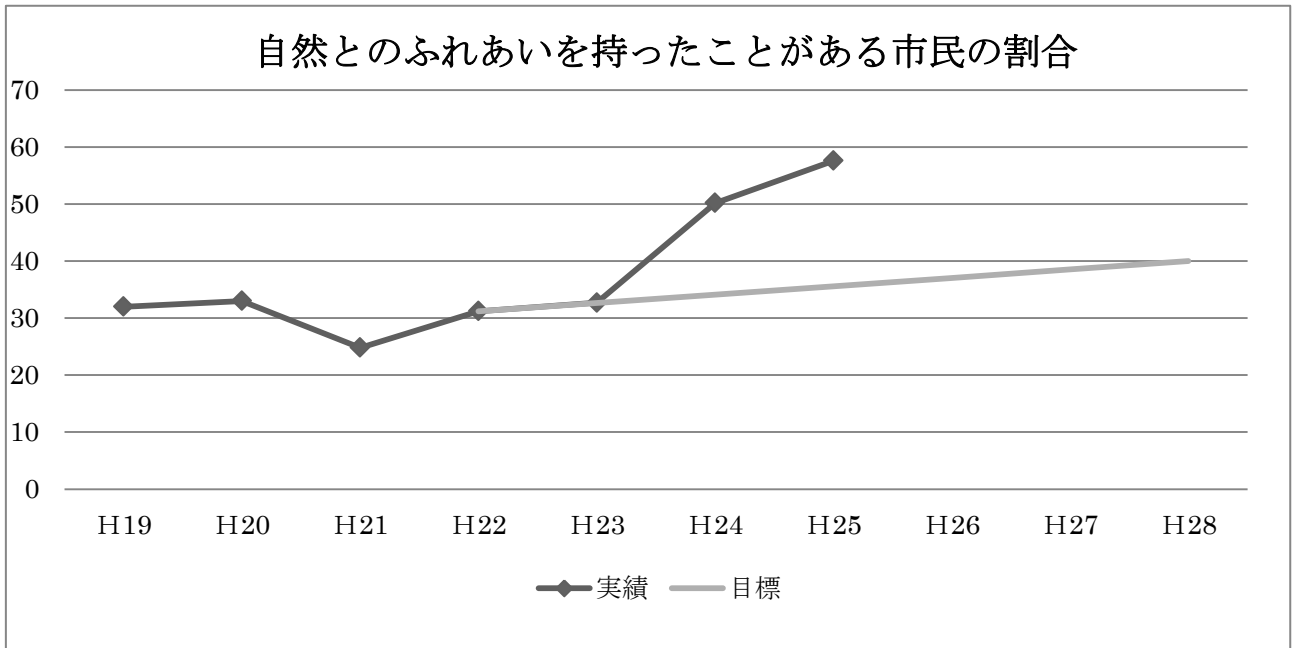


2 施策指標の達成状況

施策指標	単位	H22年度 実績	H25年 度 実績	H28年 度 目標	達成 状況
自然とのふれあいを持ったことがある市民の割合	%	31.2	57.6	40.0	◎
環境学習会に参加したことがある市民の人数 同、市民アンケートによる割合	人/ 年 (%)	30,973 (23.9)	38,398 (28.7)	40,000 (31.0)	◎ (◎)

達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向 ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向

△：目標未達成だが改善傾向 ×：目標未達成で、横ばい又は悪化傾向



自然とのふれあいの方法や環境学習の形態が多様化しつつあり、それが全体としての参加者増加につながっているものと考えられます。

3 施策の柱の達成状況

施策5-1 子どもの環境学習を進める仕組みづくり

1 将来的な手順の考え方と現状

	将来的な手順の考え方	H25年度の状況
第1段階	(1) 飯田市の環境に関連する課や学校教育課、公民館などが連携しながら、学校において系統的に実施できる地域の特色を生かした環境学習プログラムの研究をします。	○ 次年度 実施予 定
	(2) 行政と地域による学校や幼稚園、保育園の支援体制の構築を図ります。	◎ 実施中
第2段階	環境学習プログラムを実施しながら学校や地域、行政が一体となって改善を図っていきます。	○ 次年度 実施予 定

2 進行を管理する指標

これからプログラム化をしていく段階であり、ある程度プログラムの姿や利用のされ方の目処がついてから目標を設定します。

3 事業の実施状況

事務 事業名	食育推進事業	環境学習推進事業(旧環境調査員活動事業)
担当課	保健課	環境課
全体 概要	<p>食育推進計画の推進のため、「栄養と食生活」を重点に、年度ごとに重点項目をかかげて、具体的な実践を推進しています。</p> <p>生活習慣病予防のために、正しい知識と実践力を身に付け、地域の仲間と地域に合った活動を展開します。</p> <p>朝食の欠食率減少に向けた取り組み</p> <p>第2次食育推進計画の内容として、共(郷・今日・協・供・教)食に取り組み、食事内容の充実を図りながら、市民総健康と生涯現役を目指します。</p>	<p>1 各小中学校推薦の児童生徒と各地区の推薦又は応募による大人 110 人以内を環境調査員(環境チェッカー)として委嘱し、市内の身近な自然環境調査活動を実施します。</p> <p>2 豊かな自然環境を保全し、自然とふれあう、体験型の学習の機会を提供します。</p> <p>3 こどもエコクラブ事務局から送付される通知、キットの配布</p>
実績	<p>1 第2次食育推進計画及び「地域健康ケア計画 2013」に基づく食育の推進</p> <p>2 「きょう食」を柱とした食育推進事業の実施</p> <p>3 多様な主体と協働し、子ども及び親を対象とした食育教室を開催</p> <p>4 食生活改善推進協議会員による地域活動実施</p> <p>5 男性対象の食生活改善教室の開催</p> <p>6 域産域消の食育店と協働した啓発活動</p> <p>7 学校食育担当者等との連携強化</p> <p>8 内閣府 食育推進評価専門委員会</p> <p>9 第 8 回食育推進全国大会(広島市)の食育関係 団体出展ブースに展示参加</p>	<p>1 環境調査員(環境チェッカー)による動植物調査の実施</p> <p>2 調査活動の正確性をより高めるため、事前に調査員に対して調査活動を行うにあたっての研修を行います。</p> <p>3 自然観察会(自然観察会、水生生物観察会)や環境学習会などを開催を検討すると共に環境に関する講演会等の案内を行います。</p> <p>4 こどもエコクラブの通知の送付、キットの配布</p> <p>5 各学校で取り組みやすい環境学習の紹介</p>
指標値	<p>2 共食率 朝食 60.0% 夕食 63.5%</p> <p>3 キッズキッチン等実施数 3 園</p> <p>4 各種活動回数と普及対象人数 351 回 11,712 人</p> <p>5 男性健康教室参加実人数 47 人</p>	<p>1 参加者数 72 人</p> <p>2 報告件数 383 件</p> <p>3 開催数 3 回</p> <p>4 回数 3 回</p>

	6 食育協力店舗数	17 店舗	
決算額	2,345(千円)		259(千円)

事務 事業名	緑の少年団支援事業	学校給食における域産域消推進事業
担当課	林務課	学校教育課
全体 概要	市内6小学校(緑の少年団)への活動補助 <参考>細々目名:森林環境保全推進事業費 (千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校)	1 飯田下伊那で生産された農畜産物等の学校給食食材としての利用を促進します。 2 地元野菜主要三品目の新納品システム導入による利用率の向上を図ります。 3 農業課の『域産域消 公共施設等推進事業』との連携展開を図ります。 調理場:丸山共同調理場・矢高共同調理場・竜峡共同調理場・上郷小学校・高陵中学校・南信濃給食センター 4 学校給食で使用する農畜産物を食育教材として活用し、児童生徒が地域食材の「旬」や郷土の「食」に関心を寄せ、地球環境について考える機会とします。
実績	市内6小学校(緑の少年団)への活動補助 <参考>細々目名:森林環境保全推進事業費 (千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校)	1 域産域消と食育を推進するため「食育の日」を各調理場月1回実施 2 地域産農産物10品目を中心として利用促進を図る。重量による評価から、地場産品の品数を増加させた質の面からの評価を行いました。 3 地域産農畜産物の利用率向上のための仕組みを検討し、生産者等関係者による現在の納品システムについて事業評価の実施 4 域産域消について「飯田市食育推進計画」に基づいた学校給食調理場職員による食育の推進
指標値	活動回数 65回	「食育の日」献立の給食回数 72回 域産域消に向けた関係課・関係者との会議数 2回
決算額	300(千円)	310(千円)

施策5-2 生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり

1 将来的な手順の考え方と現状

	将来的な手順の考え方	H25年度の状況
第1段階	環境学習を希望する地域とともに、系統立った環境学習ができるように、飯田市の環境に関連する課と公民館、市民団体・NPO/NGO などを中心とした検討体制を整え、公民館の主事をサポートできる体制を検討していきます。	○ 次年度 実施予 定
第2段階	環境学習を希望する地域とともに、系統立った環境学習ができるように、サポート体制が整います。	○ 次年度 実施予 定

2 進行を管理する指標

現在の状況は、プログラムやこれからの体制について検討している段階です。もう少し検討が進んだ段階で、数値目標の設定について考えていきます。

3 事業の実施状況

事務 事業名	地域環境活動支援事業(旧環境情報発信事業)	森林ふれあい事業
担当課	環境課	林務課
全体 概要	<p>【23年度まで】</p> <p>①地域における市民、グループ団体、事業者などの自主的な環境活動を推進するための参考資料として、環境に関わる情報を、広報いいだやチラシを活用した情報提供やホームページの作成を行い広く公開していきます。</p> <p>②地域における環境保全活動推進のため、環境アドバイザー制度(登録期間は2年間。20年度当初登録者数は10人)を活用した情報提供と環境意識の啓発を図ります。</p> <p>【24年度】</p> <p>①市民における環境改善や環境配慮の行動をさらに広めるため、地域での学習の機会をとらえ、関係機関と連携するなか、環境学習の事例の提供、講師の紹介を行います。</p> <p>②地域における環境活動を推進するため、環境に関わる情報を配信します。</p>	<p>市民が自然とふれあいながら、様々な体験を通して自然の大切さ、環境保全の大切さを学ぶ。また、親子のふれあいの場とします。</p> <p>1 野底山森林公園まつり実行委員会運営事業</p> <p>2 飯田市育樹祭実行委員会運営事業</p>
実績	<p>1 環境情報発信事業</p> <p>(1) 広報いいだ、ホームページなどを活用し、環境に関する情報発信を行います。</p> <p>(2) 環境施設視察対応</p> <p>2 環境意識啓発事業</p> <p>(1) 環境学習の事例提供</p> <p>(2) 環境アドバイザー制度の活用、講師派遣</p> <p>(3) 環境フェアを開催し、市民の意識高揚を図る</p>	<p>1 野底山森林公園まつり</p> <p>イベント内容(緑化木頒布、森の産物体験即売、親子木工体験、花木等即売、ごみの分別資源の有効活用、野底ウォーク、ツリークライミング、その他)</p> <p>2 飯田市育樹祭 上郷野底山財産区有林内</p> <p>内容 搬出間伐体験</p> <p>参加者 財産区議員、まちづくり委員、上郷小学校児童、市民参加者等</p>
指標値	<p>1 環境情報発信事業</p> <p>(1) 情報発信数 40回</p> <p>(2) 実施回数 1回</p> <p>2 環境意識啓発</p>	<p>1 参加者数 3,000人参加</p> <p>2 参加者数 106人参加</p>

	(2)情報提供・講師派遣回数 114回 (3)開催回数 1回	
決算額	647(千円)	844(千円)

施策5 その他事業の実施状況

<p>事務 事業名</p>	<p>森林公園維持管理事業</p>	<p>天竜川総合学習館管理運営事業</p>
<p>担当課</p>	<p>林務課</p>	<p>建設管理課</p>
<p>全体 概要</p>	<p>野底山森林公園を適切に維持管理するための事業(施設の管理・清掃、除草作業、花木の剪定・伐採、遊具修繕、施設点検、施設改修等)</p>	<p>天竜川治水対策事業の整備にあわせて、河川防災拠点施設とともに、天竜川などの河川環境や自然環境学習の場として建設されている天竜川総合学習館の施設管理及び学習講座の企画運営を行う事業です。</p> <p>天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示をおこない一般観覧者に対応すると共に、週1～2回の講座開催による環境等の学習の推進や、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然・環境・歴史・文化などを題材にした生涯学習の推進を図る事業です。</p>
<p>実績</p>	<p>1 臨時職員2名常駐による、公園内施設の予約管理、受付、窓口、案内</p> <p>2 日常の花木剪定・伐採、公園清掃、草刈等業務委託</p> <p>3 公園内施設の整備・施設改修等</p> <p>4 駐車場トイレと、キャンプ場バイオトイレの点検及び維持管理費用</p> <p>5 HP を利用し、公園のリアルタイムな様子の広報をし、利用者の利便を図る。</p> <p>インターネットを活用した、施設予約管理を行う。</p>	<p>1 かわらんべ講座の開催 〔講座内容〕 (1) 小中学生・一般を対象にした、自然環境学習講座の開催 (2) 幼児向け講座の開設(親子で自然に親しむ講座の開催) (3) 成人市民を対象にした、自然環境学習講座の開催 (4) 河に親しむ講座の開催</p> <p>2 総合学習(学校等)への対応</p> <p>3 来館者への対応(講座参加者、総合学習利用者、施設利用及び市民以外の来館者を含む)</p>
<p>指標値</p>	<p>1 式 1式</p> <p>2 業務契約数 3業務</p> <p>3 施設数 1カ所</p> <p>4 施設数 2カ所</p>	<p>1 講座開催数 98回</p> <p>2 来園、来校回数 65回</p> <p>3 来館者数 28,734人</p>

	5 式	1 式	
決算額	11,881(千円)		8,362(千円)

事務 事業名	林間学校等施設管理運営事業(大平)	林間学校等施設管理運営事業(姫宮)
担当課	学校教育課	学校教育課
全体 概要	<p>1 維持管理</p> <p>(1)電気代、施設修理修繕、給水管修理、硝子破損修理他</p> <p>(2)汚物汲取手数料、建物保険、給水ポンプ点検清掃、施設用地借地契約</p> <p>(3)草刈・清掃</p> <p>(4)大平保存再生協議会参加</p>	<p>1 維持管理</p> <p>(1)電気代、水道料、施設修理修繕</p> <p>①給水管修理、トイレ修理他</p> <p>(2)汚物汲取手数料、建物保険、給水設備点検清掃</p> <p>年 3 回の教育委員会事務局職員による草刈・清掃</p> <p>野底山森林公園の他施設との複合的利用や利便性向上のための検討林間学校等の施設管理経費</p>
実績	<p>1 維持管理業務</p> <p>(1)光熱費支払、施設修理修繕、消耗品補修</p> <p>(2)建物保険、給水ポンプ点検清掃、施設用地借地支払</p> <p>(3)草刈・清掃等の施設の保守・点検</p>	<p>1 維持管理</p> <p>(1)電気代、施設修理修繕</p> <p>①給水管修理、トイレ修理等</p> <p>(2)汚物汲取手数料、建物保険、給水設備点検清掃</p> <p>(3)管理消耗品</p> <p>年 3 回の教育委員会事務局職員による草刈・清掃</p> <p>林務課への移管に向けての調整、指定管理に向けての調整</p>
指標値	管理する施設数 2	管理する施設数 1
決算額	1,532(千円)	1,532(千円)